

2023

8

新潟県拠点

情報かわら版



- 棚田に萌えて、棚田の保全と活用に情熱を燃やす！
～「(株)トロノキファーム」さんのご紹介～・・・P1
- BUZZMAFF 穂Click!
FC越後妻有のメンバーによる「ほめあいリフティング」・・・P2
- 水田における作付意向について
(令和5年産第3回中間的取組状況(令和5年6月末時点))・・・P3
- マフ塾開催中！
～食や農林水産業について学べる夏休みの特設Webサイト～・・・P4

電子版はこちら 



も 棚田に萌えて、棚田の保全と活用に情熱を燃やす！

～「(株)トロノキファーム」さんのご紹介～

十日町市蒲生（かもう）にある（株）トロノキファームさんは、地域の棚田の保全に取り組むとともに、棚田の魅力を生かした農家民宿の経営を行っています。代表の阿久澤さんにお話を伺ってきました。

阿久澤さんと棚田との出会い

阿久澤さんは、20年以上にわたり国内外の著名ホテルの経営に携わってきました。経営者として大きなストレスを抱える中で、たまたま広告で目にした「大地の芸術祭」を見に十日町市に来て、棚田と出会い、その魅力に惹かれ、十日町市に通うようになります。あまりの感動で「棚田萌え」してしまったそうです。

2018年には、ホテル経営の経験を活かして棚田地域の振興を図ろうと、蒲生の古民家を購入し、農家民宿「トロノキハウス」をオープンしました。



代表の阿久澤さん 笑顔で収穫作業

棚田の保全と復田



保全活動に参加するサポーターの皆さん

その後、離農する耕作者からの依頼をきっかけに、地元の元区長、元地域おこし協力隊員など多様なメンバー5人で（株）トロノキファームを設立し、「儀明の棚田」の保全活動を開始します。メンバーによる作業に加え、田植えや稲刈りの時期には、トロノキハウスの宿泊客やそこからの口コミで活動を知った人たちが、棚田に心の癒しを求めて、全国から手伝いに訪れます。

さらに、今年4月には、耕作放棄が進んでいた「蒲生の棚田」について、「今復田しなければ消滅してしまう」との強い思いから、十日町市の支援も受け40アールを復田しました。

農家民泊「トロノキハウス」

「トロノキハウス」では、棚田に観光客を呼び込み地域を元気にするため、里山での生活体験・郷土料理の提供・棚田での農業体験など付加価値の高いサービスを提供しています。

阿久澤さんは「都会でのストレスが大きいほど山里や棚田の価値が上がっていく。その価値をさらに磨いていきたい。」と語られていました。今後は、棚田の有する「景観価値」「経験価値」「環境価値」をコンセプトに、棚田に癒しを求めに来る人たちに様々なサービスを提供する「棚田パーク」を作りたいとのこと。

阿久澤さんたちの棚田ドリーム(?)の実現が待ち遠しいです。



地元の食材を使って郷土料理を提供

農林水産省は、棚田の保全や農泊の取組を支援しています。棚田の保全や棚田を活用した観光資源開発等に取り組まれる際には、農林水産省の事業の活用もご検討ください。

詳細は以下のURLまたは右のQRコードからご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanada.html>



BUZZMAFF 穂Click!

FC越後妻有のメンバーによる 「ほめあいリフティング」

BUZZ MAFF 穂Click! の楽しい動画を紹介します。

昨年度の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」で特別賞を受賞した「NPO法人越後妻有里山協働機構」の取組（詳しくは、かわら版2月号をご覧ください）を紹介しようと、機構が運営する女子サッカーチーム「FC越後妻有」の選手に「ほめあいリフティング」をお願いしました。

【「ディスカバー農山漁村の宝」の応募用紙に、サッカーチームによる棚田保全などの活動を「誉めて」記入したら特別賞の表彰を受けた】というところから、穂Click!のメンバーがお願いしたものと思われる。たぶん。



動画では、選手同士の「ほめあいリフティング」や、地域活動への思いを語るインタビュー、その活動を見守る地域の人たちとの座談会の様子を紹介しています。選手同士の「ほめあいリフティング」は、見るだけで幸せな気持ちになりますよ。ぜひご覧ください。

動画は以下のURL又はQRコードからご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=xx9zloSnPoo>



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」では、農山漁村の有するポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、特設WebサイトやSNSでの活動の紹介などを通じて全国へ幅広く情報発信を行っています。

現在、第10回選定の募集を行っていますので、興味のある方はふるって応募してください。

表彰制度の詳細や応募方法は特設Webサイト（以下のURLまたはQRコード）よりご確認ください。

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>



応募期間 2023年6月16日(金)～8月27日(日)



水田における作付意向について

(令和5年産第3回中間的取組状況(令和5年6月末時点))

都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、令和5年産の水田における作付意向（令和5年6月末時点）が公表されました。

令和5年産は令和4年産と同程度の作付転換が必要と見通しを示しているところですが、皆様のご協力のおかげで、新潟県の主食用米の作付意向は「前年並み」となっております。

戦略作物を見ると、海外での需要拡大に対応する輸出用米などの新市場開拓用米や輸入飼料の価格高騰に伴い需要が高まっているWCS用稲が多く、県内で増加傾向となっており、県内でも同様の傾向が見られます。

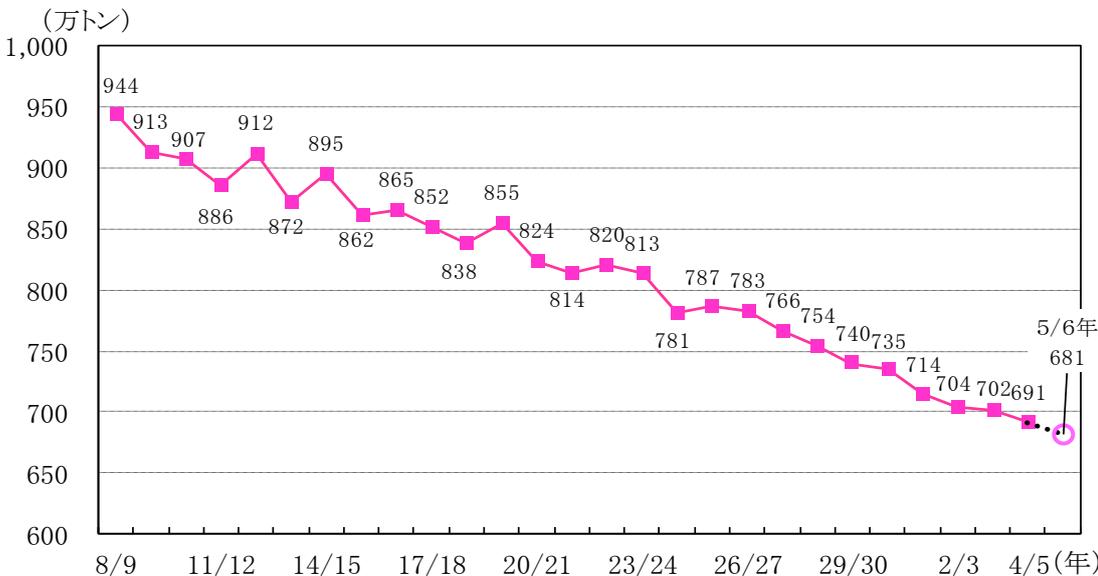
全国の主食用米等の需要量は、人口減少等により、最近では年10万t程度の減少傾向にあり、令和5年7月以降1年間の主食用米等の需要量の見通しは681万tとなっております。次年産以降も、農林水産省の支援策も活用していただき、引き続き、需要が見込まれる作物への作付転換をご検討願います。

【令和5年産米等の新潟県の作付意向（令和5年6月末）】

都道府県	主食用米			戦略作物										備蓄米 (ha)					
	4年産実績	5年産意向(対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米(輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲(稲壳餅餌飼料用稲)		麦		大豆		4年産実績	5年産意向(対前年実績)
		6月末時点(今回公表)	4月末時点(前回公表)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)	4年産実績	5年産意向(対前年実績)		
新潟	99,900	→	→	7,627	↓	1,513	↑	2,285	↓	4,578	↓	433	↑	125	↑	3,907	↑	4,558	→

注1：主食用米、戦略作物及び備蓄米の「5年産意向(対前年実績)」は、4年産実績と比較し、「↑」：増加傾向(1%超増加)、「→」：前年並み(増減1%以内)、「↓」：減少傾向(1%超減少)で分類。
 注2：主食用米の4年産実績は、令和4年12月統計部公表の主食用作付面積。
 注3：加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲の4年産実績は、取組計画認定面積。
 注4：麦・大豆の4年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に関与した面積(基幹作)。
 注5：備蓄米の4年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

【(参考) 主食用米等の需要量の推移】



詳細は以下のURL又は右のQRコードをご参照ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/230731.html



マフ塾開催中!

～食や農林水産業について学べる
夏休みの特設Webサイト～



農林水産省では、夏休みに食や農林水産業について学べる特設Webサイト「マフ塾」を開催しています。図や写真をまじえて農・林・水について学べる25の特集ページや、楽しいクイズを用意しています。夏休みの自由研究の題材探しにもぴったりです。

子どもはもちろん大人も楽しめるコンテンツとなっていますので、ぜひご覧ください。

(掲載コンテンツの例)

- ・今こそお米の魅力を知ろう!～米・米粉について考えてみよう～
- ・FCP夏休み子どもページ～食品企業のお仕事を体験しよう!～
- ・クジラってどんな生き物?クイズや動画で楽しく学ぼう!

マフ塾は以下のURL又は右のQRコードからご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2023/index.html



<編集後記>

皆さんこんにちは。新潟県拠点の齊藤です。

今年もまた暑い夏がやってきました。夏と言えば「花火」!新潟では各地で花火大会が開催されています。

僕も今年には新潟まつりの花火を見てきました。萬代橋と信濃川の向こう側に見える花火は、他では見れない素敵な花火ですね!

今月も最後まで読んでいただきありがとうございました。



お問い合わせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

